

銀河鉄道ノ夜

ジヨパンニと共に、銀河鉄道の窓から
漂う香りをお楽しみください。



ほんたうに苹果（りんご）の匂だよ。
それから野茨（のいばら）の匂もする。

ジヨパンニ

Shinzi Katoh
宮沢賢治「銀河鉄道の夜」

創業享保年間 老舗

奥野晴明堂

「じつにそのすきとほった綺麗な風は、ばらの匂いでいっぱいでした」とあるように、ばらの匂いが出てきます。銀河を草原としてたとえ、その草原を走り抜ける中、ばらの香りが外から入ってくるという、表現ではないかと考えます。

「何だか苹果（りんご）の匂（におひ）がする。僕はいま苹果のことを考へたためだらうか。」カムパネルラが不思議さうにあたりを見まはしました。（銀河鉄道の夜より）というように、銀河鉄道の夜には苹果（りんご）がよく出てきます。宮沢賢治が故郷を思う表現の一つだと思われます。

銀河鉄道ノ夜
「薔薇の香り」



36-2



4 933105 007451

銀河鉄道ノ夜
「りんごの香り」



36-1



4 933105 007444

デザイナー・絵本作家

Shinzi Katoh
(シンジカトウ)

熊本県出身。50年を超えるデザイナー人生の中で雑貨、靴、服、絵本、ジュエリーなど15000点以上の様々なプロダクト・デザインを国内外へ送り出している。地球環境の変化に翻弄される北極熊の兄弟をキャラクターにした「そらべあ」を制作し2010年NPO法人そらべあ基金の活動が環境大臣賞を受賞。ロンドンのHarrodsやバリのColetteでのイベントに加え、香港&台湾セブンイレブンでのノベルティ採用等その活動は世界に広がっている。これまでに30冊以上の絵本を出版。「ガラスペンでなぞる文学 宮沢賢治幻燈館」を出版し、文具、食器等を展開し、独特の世界観が人気。

